



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 日新製鋼株式会社
コード番号 5413 URL <http://www.nisshin-steel.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三喜 俊典
問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 榊 信行

TEL 03-3216-5566

四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	251,700	△9.1	4,286	△32.4	1,036	△81.0	32	△98.4
28年3月期第2四半期	276,759	△11.0	6,336	△29.6	5,455	△34.5	2,007	△61.8

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △13,443百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △3,813百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	0.30	—
28年3月期第2四半期	18.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	680,104	208,457	28.9
28年3月期	708,167	217,978	29.9

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 196,746百万円 28年3月期 211,694百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年3月期の期末配当につきましては、現時点で未定です。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	516,000	△5.7	11,000	9.0	7,500	20.8	3,000	—	27.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	109,843,923 株	28年3月期	109,843,923 株
29年3月期2Q	228,325 株	28年3月期	225,192 株
29年3月期2Q	109,617,037 株	28年3月期2Q	109,622,519 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）のわが国経済は、政策効果を背景に企業収益や雇用情勢に改善が見られたものの、企業の生産活動や個人消費は伸び悩む展開となりました。また、欧米では緩やかな景気回復傾向が見られたものの、中国を中心にアジア地域は減速傾向を辿りました。

鉄鋼業界におきましても、依然として続く中国過剰生産に伴う鋼材市況低迷や継続する円高局面など厳しい状況が続く展開となりました。

このような環境のもと、当社グループは24号中期連結経営計画（以下、24号中計）の最終年度として、各種施策の完遂と統合シナジー最大化に向けた取り組みを鋭意推進してまいりました。しかしながら、生産設備の定期修繕後の立上げに一部遅れが生じたことや、原料価格下落に伴う在庫評価損発生などの収益減少要因もあり、当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高 2,517 億円（前年同期比 250 億円減収）、営業利益 42 億円（同 20 億円減益）、経常利益 10 億円（同 44 億円減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益 0 億円（同 19 億円減益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少（△24 億円）、受取手形及び売掛金の減少（△96 億円）、投資有価証券の減少（△69 億円）等があり、前連結会計年度末（平成28年3月末）より 280 億円減少し、6,801 億円となりました。

負債は、有利子負債の減少（△112 億円）等があり、前連結会計年度末より 185 億円減少し、4,716 億円となりました。

純資産は、その他の包括利益累計額の減少（△122 億円）、剰余金の配当（△27 億円）等があり、前連結会計年度末より 95 億円減少し、2,084 億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、緩やかな回復に向かうことが期待されるものの、中国をはじめとするアジア経済の減速など、景気下振れリスクが懸念されます。

鉄鋼業界においても、東京五輪を背景とした建築・インフラ関連の需要増加が期待される一方、原料価格が上昇局面に転じるなど、引き続き不透明な状況が続くものと予想されます。

当社グループにおいては、24号中計で掲げた各施策を完遂させるため、これまでの取り組みを引き続き推進してまいります。

以上の経営環境や施策の取り組みを勘案し、平成29年3月期通期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）の連結業績予想は、売上高 5,160 億円、営業利益 110 億円、経常利益 75 億円、親会社株主に帰属する当期純利益 30 億円と、平成28年7月29日に開示した予想数値から修正することといたしました。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更)

当社の連結子会社である日新製鋼建材株式会社は、平成28年4月1日付で当社の市川製造所を含む塗装・建材市場に係わる鋼板製造販売事業を承継したことを契機に、同社の事業環境等を総合的に勘案し、同社が保有する設備の一部について、第1四半期連結会計期間より残存価額を備忘価額に変更しております。

この変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の減価償却費が410百万円増加し、営業利益が366百万円、経常利益および税金等調整前四半期純利益が403百万円それぞれ減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,440	28,947
受取手形及び売掛金	77,581	67,962
たな卸資産	124,776	124,233
その他	26,059	21,971
貸倒引当金	△457	△445
流動資産合計	259,400	242,669
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	75,305	76,674
機械装置及び運搬具(純額)	108,494	106,517
土地	71,828	71,807
その他(純額)	10,108	15,917
有形固定資産合計	265,736	270,916
無形固定資産	13,088	13,385
投資その他の資産		
投資有価証券	115,066	108,104
退職給付に係る資産	22,585	22,673
その他	33,026	23,072
貸倒引当金	△735	△718
投資その他の資産合計	169,942	153,132
固定資産合計	448,767	437,434
資産合計	708,167	680,104
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	87,436	89,176
短期借入金	76,032	66,461
1年内償還予定の社債	10,000	30,000
引当金	181	179
その他	45,666	36,577
流動負債合計	219,316	222,394
固定負債		
社債	40,000	20,000
長期借入金	153,495	151,849
特別修繕引当金	8,590	8,590
その他の引当金	1,410	1,404
退職給付に係る負債	48,300	48,325
その他	19,075	19,081
固定負債合計	270,872	249,251
負債合計	490,189	471,646

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	76,345	76,345
利益剰余金	78,214	75,514
自己株式	△549	△557
株主資本合計	184,010	181,302
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,333	14,966
繰延ヘッジ損益	△651	△360
土地再評価差額金	405	405
為替換算調整勘定	15,698	2,647
退職給付に係る調整累計額	△2,102	△2,214
その他の包括利益累計額合計	27,684	15,444
非支配株主持分	6,283	11,710
純資産合計	217,978	208,457
負債純資産合計	708,167	680,104

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	276,759	251,700
売上原価	246,195	223,135
売上総利益	30,563	28,564
販売費及び一般管理費	24,226	24,278
営業利益	6,336	4,286
営業外収益		
受取利息	88	72
受取配当金	1,543	855
持分法による投資利益	209	-
為替差益	195	-
その他	1,015	897
営業外収益合計	3,051	1,825
営業外費用		
支払利息	2,098	1,971
持分法による投資損失	-	310
出向者労務費差額負担	1,042	1,248
為替差損	-	473
その他	791	1,071
営業外費用合計	3,932	5,075
経常利益	5,455	1,036
特別損失		
固定資産除売却損	359	344
減損損失	882	-
投資有価証券売却損	106	-
特別損失合計	1,348	344
税金等調整前四半期純利益	4,107	692
法人税等	1,982	629
四半期純利益	2,125	62
非支配株主に帰属する四半期純利益	117	30
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,007	32

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	2,125	62
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,634	681
繰延ヘッジ損益	△671	227
為替換算調整勘定	△477	△5,282
退職給付に係る調整額	△608	△124
持分法適用会社に対する持分相当額	1,453	△9,008
その他の包括利益合計	△5,938	△13,506
四半期包括利益	△3,813	△13,443
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,761	△12,203
非支配株主に係る四半期包括利益	△51	△1,240

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

I. 平成28年度第2四半期決算

1. 損益状況等

(億円)

	No	H28年度上期			H27年度 上期 (実績) d	H28年度 上期 (前回予想) e	差異		
		4-6月 (実績) a	7-9月 (実績) b	(実績) c			① c-d	② b-a	③ c-e
売上高	1	1,194	1,323	2,517	2,767	2,520	▲ 250	129	▲ 3
営業利益	2	2	40	42	63	25	▲ 21	38	17
経常利益	普通鋼・特殊鋼	3	12	33	45	40	▲ 49	21	5
	ステンレス	4	▲ 25	▲ 10	▲ 35	▲ 40	▲ 60	5	25
計	5	▲ 13	23	10	54	▲ 20	▲ 44	36	30
親会社株主に帰属する四半期純利益	6	▲ 15	15	0	20	▲ 35	▲ 20	30	35
在庫評価	普通鋼・特殊鋼	7	▲ 15	▲ 10	▲ 25	▲ 15	▲ 5	5	▲ 10
	ステンレス	8	▲ 15	▲ 20	▲ 35	▲ 55	▲ 5	▲ 5	20
計	9	▲ 30	▲ 30	▲ 60	▲ 50	▲ 70	▲ 10	0	10
経常利益 <実力ベース>	普通鋼・特殊鋼	10	27	43	70	55	▲ 44	16	15
	ステンレス	11	▲ 10	10	0	▲ 5	10	20	5
計	12	17	53	70	104	50	▲ 34	36	20

2. 諸元

	No	H28年度上期			H27年度 上期 (実績) d	H28年度 上期 (前回予想) e	差異		
		4-6月 (実績) a	7-9月 (実績) b	(実績) c			① c-d	② b-a	③ c-e
粗鋼生産量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	1	68	79	147	151	▲ 11	11	▲ 4
	ステンレス	2	18	17	35	36	1	▲ 1	▲ 1
	計	3	86	96	182	187	▲ 10	10	▲ 5
販売数量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	4	70	79	149	150	▲ 1	9	▲ 1
	ステンレス	5	12	15	27	28	2	3	▲ 1
	計	6	82	94	176	178	1	12	▲ 2
鋼材平均単価 (千円/トン)	7	109	106	108	122	107	▲ 14	▲ 3	1
輸出比率 (金額ベース, %)	8	15	15	15	16	15	▲ 1	0	0
輸出為替レート (円/ドル)	9	108	102	105	122	106	▲ 17	▲ 6	▲ 1

3. 経常利益差異内訳

①H27年度上期(実績) 対 H28年度上期(実績)

(億円)

(内ステンレス)

H27年度上期(実績)		54	変動要因		▲ 40
変動要因	販売関連	▲ 305	価格差▲250、数量構成差▲15、輸出為替差▲40		▲ 145
	購買関連	260	鉄鉱石 45、石炭 15、ニッケル原料 60、クロム 20、 油類 20、輸入為替差 60		135
	コスト等	11	合理化、定期修繕影響等		30
	子会社等	0			▲ 10
	在庫評価	▲ 10	▲50→▲60(内ステンレス▲30→▲35)		▲ 5
計	▲ 44			5	
H28年度上期(実績)		10			▲ 35

②H28年度4-6月(実績) 対 H28年度7-9月(実績)

(億円)

(内ステンレス)

H28年度4-6月(実績)		▲ 13	変動要因		▲ 25
変動要因	販売関連	15	数量構成差 35、価格差▲15、輸出為替差▲5		10
	購買関連	0	石炭▲5、ニッケル原料▲10、クロム 5、輸入為替差 15		5
	コスト等	11	定期修繕影響等		0
	子会社等	10			5
	在庫評価	0	▲30→▲30(内ステンレス▲15→▲20)		▲ 5
計	36			15	
H28年度7-9月(実績)		23			▲ 10

③H28年度上期（前回予想） 対 H28年度上期（実績）

(億円) (内ステンレス)

H28年度上期(前回予想)		▲ 20	変動要因	▲ 60
要 因	販売関連	5	価格差 20、数量構成差▲10、輸出為替差▲5	▲ 5
	購買関連	0		0
	コスト等	5		0
	子会社等	10		10
	在庫評価	10	▲70→▲60(内ステンレス▲55→▲35)	20
	計	30		25
H28年度上期(実績)		10		▲ 35

4. 貸借対照表 (H28年9月末)

(億円)

		対H28/3末				対H28/3末	
現金	289	▲ 24		有利子負債	2,683	▲ 112	
売上債権	679	▲ 96		その他の負債	2,033	▲ 73	
たな卸資産	1,242	▲ 5		負債合計	4,716	▲ 185	
その他流動資産	215	▲ 40		資本金・資本剰余金	1,063	-	
有形・無形固定資産	2,843	54		利益剰余金	755	▲ 26	
投資等	1,531	▲ 168		自己株式	▲ 5	▲ 0	
				その他の包括利益			
				累計額	154	▲ 122	
				非支配株主持分	117	54	
資産合計	6,801	▲ 280		純資産合計	2,084	▲ 95	
				負債・純資産合計	6,801	▲ 280	

II. 平成28年度業績予想

1. 損益状況等

(億円)

No	H28年度			H28年度 (前回予想)	H27年度 (実績)	差異			
	上期(実績)	下期(予想)	(予想)			① b-a	② c-d	③ c-e	
売上高	1	2,517	2,643	5,160	5,160	5,470	126	0	▲ 310
営業利益	2	42	68	110	170	100	26	▲ 60	10
経常利益	3	45	50	95	150	172	5	▲ 55	▲ 77
普通鋼・特殊鋼	3	45	50	95	150	172	5	▲ 55	▲ 77
ステンレス	4	▲ 35	15	▲ 20	▲ 35	▲ 110	50	15	90
計	5	10	65	75	115	62	55	▲ 40	13
親会社株主に帰属する当期純利益	6	0	30	30	75	▲ 66	30	▲ 45	96
在庫評価	7	▲ 25	25	0	▲ 30	▲ 45	50	30	45
普通鋼・特殊鋼	7	▲ 25	25	0	▲ 30	▲ 45	50	30	45
ステンレス	8	▲ 35	5	▲ 30	▲ 50	▲ 90	40	20	60
計	9	▲ 60	30	▲ 30	▲ 80	▲ 135	90	50	105
経常利益	10	70	25	95	180	217	▲ 45	▲ 85	▲ 122
普通鋼・特殊鋼	10	70	25	95	180	217	▲ 45	▲ 85	▲ 122
ステンレス	11	0	10	10	15	▲ 20	10	▲ 5	30
計	12	70	35	105	195	197	▲ 35	▲ 90	▲ 92

2. 諸元

No	H28年度			H28年度 (前回予想)	H27年度 (実績)	差異			
	上期(実績)	下期(予想)	(予想)			① b-a	② c-d	③ c-e	
粗鋼生産量	1	147	150	297	314	314	3	▲ 17	▲ 17
普通鋼・特殊鋼	1	147	150	297	314	314	3	▲ 17	▲ 17
ステンレス	2	35	34	69	71	65	▲ 1	▲ 2	4
計	3	182	184	366	385	379	2	▲ 19	▲ 13
販売数量	4	149	153	302	307	306	4	▲ 5	▲ 4
普通鋼・特殊鋼	4	149	153	302	307	306	4	▲ 5	▲ 4
ステンレス	5	27	29	56	59	52	2	▲ 3	4
計	6	176	182	358	366	358	6	▲ 8	0
鋼材平均単価	7	108	112	110	109	117	4	1	▲ 7
(千円/トン)	7	108	112	110	109	117	4	1	▲ 7
輸出比率	8	15	14	15	15	15	▲ 1	0	0
(金額ベース, %)	8	15	14	15	15	15	▲ 1	0	0
輸出為替レート	9	105	105	105	106	120	0	▲ 1	▲ 15
(円/ドル)	9	105	105	105	106	120	0	▲ 1	▲ 15

3. 経常利益差異内訳

①H28年度上期（実績） 対 H28年度下期（予想）

（億円）

（内ステンレス）

H28年度上期(実績)		10	変動要因	▲ 35
変動要因	販売関連	85	価格差 65、数量構成差 20	20
	購買関連	▲ 160	鉄鉱石▲30、石炭▲105、ニッケル原料▲20、クロム▲15、油類▲15、輸入為替差 35	▲ 20
	コスト等	40	定期修繕影響等	5
	子会社等	0		5
	在庫評価	90	▲60→30(内ステンレス▲35→5)	40
	計	55		50
H28年度下期(予想)		65		15

②H28年度通期（前回予想） 対 H28年度通期（予想）

（億円）

（内ステンレス）

H28年度通期(前回予想)		115	変動要因	▲ 35
変動要因	販売関連	0	価格差 30、数量構成差▲30	▲ 5
	購買関連	▲ 110	鉄鉱石▲5、石炭▲100、ニッケル原料▲10、クロム▲5、油類 5、輸入為替差 10	▲ 10
	コスト等	5		0
	子会社等	15		10
	在庫評価	50	▲80→▲30(内ステンレス▲50→▲30)	20
	計	▲ 40		15
H28年度通期(予想)		75		▲ 20

③H27年度通期（実績） 対 H28年度通期（予想）

（億円）

（内ステンレス）

H27年度通期(実績)		62	変動要因	▲ 110
変動要因	販売関連	▲ 320	価格差▲245、輸出為替差▲75	▲ 140
	購買関連	200	鉄鉱石 30、石炭▲90、ニッケル原料 55、クロム 25、油類 15、輸入為替差 175	155
	コスト等	18	合理化、定期修繕影響等	10
	子会社等	10		5
	在庫評価	105	▲135→▲30(内ステンレス▲90→▲30)	60
	計	13		90
H28年度通期(予想)		75		▲ 20

4. 株主還元

第2四半期末配当については、財務体質、収益状況等を総合的に検討した結果、大変遺憾ながら見送り。通期末の配当については未定。

〔参考〕有利子負債・ネットD/Eレシオ

	H27/3末	H28/3末	H28/9末
手許預金(億円)	263	314	289
有利子負債(億円)	2,898	2,795	2,683
ネットD/Eレシオ	1.00	1.17	1.22
〃 (格付ペ-ス) ※	0.86	0.98	1.01

※ 日本格付研究所の格付評価上、資本性が認められるハイブリッドローンについて、元本の50%を資本とみなした場合のネットD/Eレシオ

(H27/3末、H28/3末およびH28/9末について、400億円の50%をそれぞれ資本に算入)

以上